

平成29年度 リーディングプロジェクト 進行管理シート

担当 部署	部	建設部
	課	道路治水課
	担当	道路建設担当

プロジェクト名	A21 (B22)	生活道路の整備及び安全対策
---------	--------------	---------------

【基本事項】 <リーディングプロジェクトの位置付け>

基本目標	2-2	良好な都市環境が整った交通利便性の高いまち	基本目標		
分野	2	道路・交通に関する方針	分野		
方針	22	魅力を高める交通環境を形成する	方針		
施策	221	だれもが安全で快適に歩くことができる歩行者空間の形成	施策		

事業の目的及び概要 近年の交通量の増加と生活形態の変化に対応するため、狭隘かつ損傷の著しい生活道路等の整備（拡幅改良）を継続的に実施することで、利便性を向上させ、だれもが安全で快適に通行できる道路交通環境の充実を図る。

【第一次リーディングプロジェクト期間における達成目標】

目 標 (5年後に達成すべき状態)	市民意識調査において、普段身近に使っている生活道路の整備状況に「満足している」「どちらかといえば満足している」と答えた人の割合を増やす。
----------------------	--

【事業計画】 <5カ年の具体的な取組内容>

開始年度 H 25 年度 終了年度 H 29 年度

年次	前年度に示した取組内容【変更前】	見直し後の取組内容【変更後】	当該年度の実績	進捗評価
H25	市民から要望を受け、「行田市生活道路等整備事業評価」により優先度を決定し、計画的かつ継続的に事業を実施する。また、危険な踏切や踏切接続道路の改良を実施する。		生活道路等の拡幅改良工事（道路改良工事）やそれに伴う調査測量設計業務、地元説明会の実施、道路用地の確保（買収等）を実施した。踏切拡幅等については鉄道事業者と協議を実施し進捗を図った。	<input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んでおり引き続き推進 <input type="checkbox"/> 見直しを行ったうえで推進 <input type="checkbox"/> 事業の縮小 <input type="checkbox"/> 休止
H26	市民から要望を受け、「行田市生活道路等整備事業評価」により優先度を決定し、計画的かつ継続的に事業を実施する。また、危険な踏切や踏切接続道路の改良を実施する。		生活道路等の拡幅改良工事（道路改良工事）やそれに伴う調査測量設計業務、地元説明会の実施、道路用地の確保（買収等）を実施した。踏切拡幅等については鉄道事業者の協力のもと工事を実施した。	<input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んでおり引き続き推進 <input type="checkbox"/> 見直しを行ったうえで推進 <input type="checkbox"/> 事業の縮小 <input type="checkbox"/> 休止
H27	市民から要望を受け、「行田市生活道路等整備事業評価」により優先度を決定し、計画的かつ継続的に事業を実施する。また、危険な踏切や踏切接続道路の改良を実施する。		生活道路等の拡幅改良工事（道路改良工事）やそれに伴う調査測量設計業務、地元説明会の実施、道路用地の確保（買収等）を実施した。踏切拡幅等については鉄道事業者と協議を実施し進捗を図った。	<input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んでおり引き続き推進 <input type="checkbox"/> 見直しを行ったうえで推進 <input type="checkbox"/> 事業の縮小 <input type="checkbox"/> 休止
H28	市民から要望を受け、「行田市生活道路等整備事業評価」により優先度を決定し、計画的かつ継続的に事業を実施する。また、危険な踏切や踏切接続道路の改良を実施する。		生活道路等の拡幅改良工事（道路改良工事）やそれに伴う調査測量設計業務、地元説明会の実施、道路用地の確保（買収等）を実施した。踏切拡幅等については鉄道事業者の協力のもと工事を実施した。（ソシオ流通センター駅東側踏切）	<input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んでおり引き続き推進 <input type="checkbox"/> 見直しを行ったうえで推進 <input type="checkbox"/> 事業の縮小 <input type="checkbox"/> 休止
H29	市民から要望を受け、「行田市生活道路等整備事業評価」により優先度を決定し、計画的かつ継続的に事業を実施する。また、危険な踏切や踏切接続道路の改良を実施する。	変更なし	生活道路等の拡幅改良工事（道路改良工事）やそれに伴う調査測量設計業務、地元説明会の実施、道路用地の確保（買収等）を実施した。踏切拡幅等については、踏切前後の歩道を確保するために、調査測量設計及び用地買収に伴う地権者との交渉を実施した。来年度以降、踏切拡幅に伴う鉄道事業者との協議を実施予定。（行田市No.1踏切）	<input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んでおり引き続き推進 <input type="checkbox"/> 見直しを行ったうえで推進 <input type="checkbox"/> 事業の縮小 <input type="checkbox"/> 休止

【取組スケジュールの変更理由】 <前年度と当該年度取組内容の変更理由>

前年度から当該年度の取組内容を変更した理由	
-----------------------	--

平成29年度 リーディングプロジェクト 進行管理シート

担当 部署	部	市民生活部
	課	防災安全課
	担当	交通担当

プロジェクト名	A21 (B22) 生活道路の整備及び安全対策
---------	----------------------------

【基本事項】 <リーディングプロジェクトの位置付け>			
基本目標	2-2	良好な都市環境が整った交通利便性の高いまち	基本目標
分野	2	道路・交通に関する方針	分野
方針	2 2	魅力を高める交通環境を形成する	方針
施策	2 2 1	だれもが安心して快適に歩くことができる歩行空間の形成	施策
事業の目的及び概要	近年の交通環境の変化や自動車の普及状況により、歩行者及び自転車の事故に遭遇する可能性が増大している。そのような中、超高齢化社会の到来や健康ブームによる徒歩、自転車の利用が増加していることから、地域の実情を踏まえ、誰もが安全で安心して利用できる交通環境の整備を行う。		

【第一次リーディングプロジェクト期間における達成目標】	
目 標 (5年後に達成すべき状態)	歩行者や自転車の安全確保を図るため、地域の実情に即して、交通規制や車道との分離などの安全対策を促進する。

【事業計画】 <5カ年の具体的な取組内容>	開始年度	H 25 年度	終了年度	H 29 年度
-----------------------	------	---------	------	---------

年次	前年度に示した取組内容【変更前】	見直し後の取組内容【変更後】	当該年度の実績	進捗評価
H25	富士見町2丁目地内におけるゾーン30の規制を始め、通学路などの安全確保のため交通安全施設の設置を行う。		富士見町2丁目地内にゾーン30の交通規制を始め、歩行者や自転車の安全確保のため交通安全施設の道路反射鏡を23箇所設置した。	<input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んでおり引き続き推進 <input type="checkbox"/> 見直しを行ったうえで推進 <input type="checkbox"/> 事業の縮小 <input type="checkbox"/> 休止
H26	地域住民や関係機関と調整のうえ、交通安全施設の設置を行う。		歩行者や自転車の安全確保のため、道路反射鏡17箇所、警戒標識1箇所、きつぷラザあおいに防護柵を設置した。	<input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んでおり引き続き推進 <input type="checkbox"/> 見直しを行ったうえで推進 <input type="checkbox"/> 事業の縮小 <input type="checkbox"/> 休止
H27	地域住民や関係機関と調整のうえ、交通安全施設の設置を行う。		事故が多発する野地内の交差点に路面表示の改良等安全対策を講じたほか、歩行者や自転車の安全確保のため、12箇所に道路反射鏡を設置した。	<input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んでおり引き続き推進 <input type="checkbox"/> 見直しを行ったうえで推進 <input type="checkbox"/> 事業の縮小 <input type="checkbox"/> 休止
H28	地域住民や関係機関と調整のうえ、交通安全施設の設置を行う。		歩行者スペースを明確にするとともに運転者への注意喚起のため、佐間地内にグリーンベルトを設置したほか、交差点等の安全確保のため、24箇所に道路反射鏡を設置した。また、道路の安全対策のため、防護柵（ガードレール）を市内3か所に設置した。	<input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んでおり引き続き推進 <input type="checkbox"/> 見直しを行ったうえで推進 <input type="checkbox"/> 事業の縮小 <input type="checkbox"/> 休止
H29	地域住民や関係機関と調整のうえ、交通安全施設の設置を行う。	変更なし	運転者へ注意喚起と歩行者スペースを明確にするグリーンベルトを持田地内等に設置した。また、交差点等の安全確保のため、道路反射鏡を29箇所に設置した。このほか、交通死亡事故発生場所への路面標示や案内標識を設置した。	<input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んでおり引き続き推進 <input type="checkbox"/> 見直しを行ったうえで推進 <input type="checkbox"/> 事業の縮小 <input type="checkbox"/> 休止

【取組スケジュールの変更理由】 <前年度と当該年度取組内容の変更理由>

前年度から当該年度の取組内容を変更した理由
